

平成21年度第3回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成21年12月5日(土)午前10時～12時00分

2 開催場所 中央図書館2階 視聴覚室

3 出席者

(委員)方波見委員長 坪井副委員長 花岡委員 田中委員 橋本委員
土久委員 舟田委員 根津委員 軽部委員 須賀委員

(事務局)中央図書館長 副館長 総務係長 奉仕第2係長
総務係副主査

4 議題

(1) 報告事項

平成21年度利用統計及び事業報告について(9月より10月)

平成20年度決算について

図書館協議会県外視察について

(2) 協議事項

図書館の情報発信について

5 議事の概要

平成21年9月より10月までの利用統計及び事業について事務局より報告を行った。

平成20年度決算について事務局より報告を行った。

図書館協議会県外視察について事務局より報告を行った。

図書館の情報発信について協議を行った。

6 会議経過

平成21年9月より10月までの利用統計及び事業について事務局より説明を行なった。

その際に表明された意見(質問)は特になし。

平成20年度決算について事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(質問) 図書サービスコーナーのシステムの変更内容はどのようなものか。

(回答) これまで貸出返却データは後日処理をしていた。これをオンライン化するために貸出し返却業務に特化したシステムを新たに開発した。

(質問) 明海大学の補助金の500万円は今後も継続するのか。

(回答) 補助金は今年度までで終了する。市民開放事業自体は継続する。

- (意見) 明海大学を見学すると、市民用の席もあり、大学にのみ所蔵する本もある。市立図書館からの資料が整理中になっていて少ない印象もあった。状況が変わっていく中で、浦安の中の図書館として見守ってゆきたい。
- (意見) 大学の図書館開放は、大学側だけで行われるものが多い。浦安は市立図書館側が踏み込んで行った事業であることが独特である。補助金がなくなった後の動きが心配である。
- (質問) 補助金の終了の件は連絡してあるのか。反応はどうであったか。
- (回答) 大学には話をしており、これまでどおり市民開放事業は継続すると伺っている。
- (意見) 図書館の市民開放は、大学の地域への貢献として多くの大学で進められており、補助金がなくても大丈夫だろう。ただ、雑誌など大学の資料の電子化が進んでおり、それらは学外者が利用できないことから、資料の独自性というメリットも低くなっている。
- (意見) 雑誌の利用が多い。市内の他の大学の市民開放も進むと良い。電子ジャーナルや論文のデータベースの利用については、市立図書館でも可能な限り取り組んでもらいたい。
- (質問) 図書館概要では予算が節別で載っているが、決算は事業別の説明となっており、統一したほうが良いのではないか。
- (回答) 費用対効果が分かりやすいこともあり、事業別の表示が中心になってきている。図書館概要を見直してゆきたい。

1月実施予定の図書館協議会県外視察について事務局より説明を行った。
その際に表明された意見(質問)は特になし。

図書館の情報発信について協議を行った。

本件については第2回図書館協議会において現状説明を行い、今回の意見とそれに対する図書館の考え方等は次回の協議会において報告の予定となっている。

今回に表明された意見(質問)は次のとおり。

1. ホームページの充実について

(意見) カレンダーでは分かりにくいので、休館日等の利用案内を最初に持ってきてもらいたい。住所、電話番号もトップページに必要。

(意見) 他市のものに比べデザインがすっきりしていて良い。

(意見) 資料検索を利用する人が多いのでトップにあるのが良い。

(意見) 分館だよりは誰が書いているのか。内容が良いので署名を入れても良いのではないか。

(意見) 展示の紹介のページも良い。本の紹介なども署名を入れても良い。レ

ベルが高いので継続してもらいたい。

(意見) 図書館協議会の情報も、市のホームページとリンクを貼るなど掲載したら良い。

(質問) 児童やヤングアダルト向けのページについては考えているか。

(回答) 課題として考えている。

2. 資料検索の機能について

(意見) 簡易検索と詳細検索の違いが分かりにくい。

(意見) 調べ方の案内は良い。国会図書館とリンクを貼ると良い。

(質問) 検索システムはパッケージであるのか。書誌データはどこのマークデータか。すべての蔵書のデータが対応できているのか。

(回答) システムはパッケージソフトを使っている。書誌データは日販図書館サービスのマークデータを使っている。初期の蔵書など購入データ以外のももあり、日販図書館サービスのデータも時期により精度に違いがある。

(意見) 浦安だけではないが、分類検索は言葉から分類へ到達できる相関索引がないと使いにくい。「を見よ」参照、「をも見よ」参照を取り入れている図書館がない。本来これらの機能がないと主題の検索の意味がない。

(質問) 新着案内は主題別への並び替えはできるのか。

(回答) 並べ替えには対応していない。

(質問) 図書館で所蔵していない新刊なども検索できると良い。

(回答) マークデータの契約により所蔵資料の使用のみが認められている。

(質問) 図書の購入については、その年度毎に方針を決定しているのか。ベストセラーの複本購入は制限があっても良いと思う。

(回答) 資料は浦安市立図書館資料収集要綱に基づき選書している。ベストセラーの複本についても、利用者からの要望や、内容などからバランスを考え、分館を含めた購入冊数を決めている。

3. 予約等ネット上でのサービスについて

(意見) 予約上位リストはあまり意味がない。ベストセラーへの予約の集中を助長することにもならないか。

(意見) どのような本が読まれているか、評判の本を確認する際に有益であると思う。

(質問) 利用者の要望に合わせた新着リストをメールマガジンで配信するような仕組みはできないのか。

(回答) 成田市立図書館で類似のサービスを始めたと聞いている、今後の研究課題としたい。

- (質問) リクエストの連絡方法は。自動音声による連絡はしているか。
(回答) 利用者の要望により、電話、メール、連絡不要で対応している。自動音声による電話連絡のシステムは導入していない。

4. ネットと紙媒体との連携について

- (意見) ホームページに掲載されている行事案内については、終了したものには参加状況や、写真などを載せると良い。
(意見) 青空文庫など無料で利用できるサイトとリンクを貼ることはできないか。
(質問) 書庫棟展示でリストを配布しているが、ホームページでもみられるのか。
(回答) ホームページでも紹介をしている。

5. メールレファレンス等について

- (意見) 千葉県立図書館の横断検索をOPACと連動して利用できるようにしてもらいたい。県内の各図書館がなぜ公開しないか不思議である。
(質問) メールレファレンスの受付は始まっているのか。
(回答) 次回の電算のリプレイス時に導入を考えている。

7 傍聴者 なし